

平成28年度（2016年度）第5回宝塚市国民健康保険運営協議会 会議要旨

日時：平成29年（2017年）1月13日（金）

午後1時30分から3時30分

場所：宝塚市上下水道局 3階 第1会議室

○ 国民健康保険事業財政の健全化について

事務局より、直近の収納率で計算した保険税についての資料を説明。

<主な質疑項目>

（会長）直近の収納率で計算すると、諮問案より収納率が高いところで計算されているため、保険税は低くなっている。

特に意見がないようであれば、皆さんの総意がこういうところにあるのではないかという答申案をつくったので、それをもとに議論をしていきたいと思う。

（事務局）会長答申案を朗読

（委員）市として赤字で大変なことになっているという広報がないと思う。それを知らせることは非常に重要だと思う。

（事務局）その件については、平成28年2月の広報紙で国民健康保険の財政状況について掲載させていただいている。今年も昨年度末において、10億9,000万円の累積赤字がありますといった内容を掲載する予定である。

（委員）保険税を上げることは致し方ないにしても、これで赤字財政が解消できるのか。何でもかんでも病院へ行きなさいという指導方針があるように思う。そうした結果がこの現状だと思う。予防に力を入れるという方向でいってほしい。

（会長）答申案の中には健康づくり事業という言い方でしか書いていないが、ここに入ってくると考えているがよろしいか。

（委員）これまでの議論が反映されている内容と感じている。ただ、答申そのものとしては、いずれの案にしても市民負担を強いるもので、賛成いたしかねるというのが私の考えである。

国の財源カットの問題に対して、全国の市長会も国に対して意見を挙げて要望しているが、それを実施してくれないからと言って、市民に負担を求めているのか、そこは市が一般財源から繰り入れてでも値上げにならないように考えてほしい。これ以上は無理ですという議論が十分にできる資料を市が出して、値上げは仕方がないという説明を市がするべきであったが、不十分であったということは指摘しておきたい。

（委員）今回の運営協議会ではいろいろな意見を率直に出してもらったと思う。市はしっかりとそれを受け止めて、国保の現状についての広報をより一層すべき

だと思ふ。皆さんがかなり意見を出されてたので、内容については異議なしと思ふます。

(会長) 2分の1ルール自体が非常に問題だと思ふ。私たちの議論はそれに縛られてやっでござるを得ない面があり、担当の職員もやはりそれに縛られる状況下ではこういう答申しかないとと思ふ。

平成30年度からの広域化以降の保険運営については県が考ふる枠組みに合わせて考ふるを得ない状況になる。まだ、枠組みは分からないが、今までのルールとは別にこうしていくべきだということ考ふるないといけないと思ふ。

特にご意見ないようでしたら、私たちの答申として提出させていただけようしいでしょうか。

(委員) 異議なし

(委員) ある一定時期にしっかり検証をしておく必要がある。また、30年度に向けて情報を提供してもらって、市として何ができるのかということも研究していくことは大事だと思ふ。

(会長) 医療費適正化対策とか収納率のアップ策とか書いているが、そういう努力がきっちり積み重なっているということを見せてもらわないといけない。

長い間、ご議論いただきまして、本当にありがとうございます。また、来年度もよろしくお願ひいたします。